

上場会社と投資家との対話促進に向けた 東京証券取引所の取組み

2012年10月26日

株式会社東京証券取引所
常務執行役員 土本 清幸

上場会社と投資家との対話促進に向けた取組み

- ◆ 投資者のニーズを踏まえた情報開示の拡充や、投資者による適切な投資判断の促進には、上場会社・投資家双方の密接なコミュニケーションが必要
- ◆ 取引所の立場から、上場会社・投資家に双方にとって対話促進への機会を提供

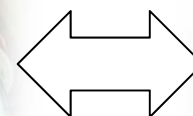
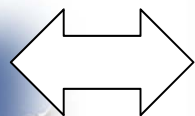
○ 上場会社を対象にしたシンポジウム

株主重視や企業価値向上に向けた環境整備の観点から、最近の市場や投資行動の変化、投資家視点での企業行動等をテーマとした上場会社向けワークショップを開催
今年7月には「企業行動と機関投資家の銘柄選択」をテーマとして開催

○ テーマ銘柄の公表

財務指標からは見えない企業の取組み・魅力について、特定のテーマや指標をベースに企業を10-15社選別して紹介。
これまでに「ESG」「特許価値」をテーマにした銘柄群を公表

上場会社



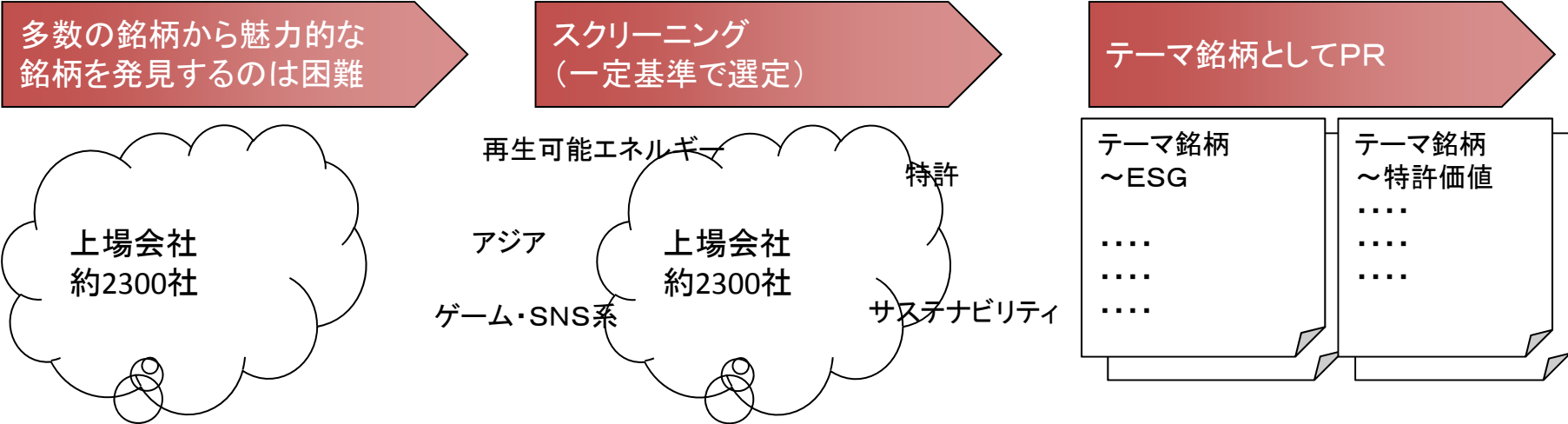
投資家



女性の活躍をテーマとしたシンポジウムやテーマ銘柄の対象とすることが可能

「テーマ銘柄」とは

- ◆ 市場全体ではなく個々の上場会社でみれば魅力的な銘柄が存在するものの、個人の方々が多数の企業の中から、“応援したくなる企業”を独力で探し出すことは困難
- ◆ そこで、東証が、個人の方々が、上場会社に関心を持ち、株式投資のきっかけとなるよう、外部関係者とも連携して、財務指標だけでは見えない様々な取組み(テーマ)を行っている、魅力ある企業を選定・紹介する取り組み。



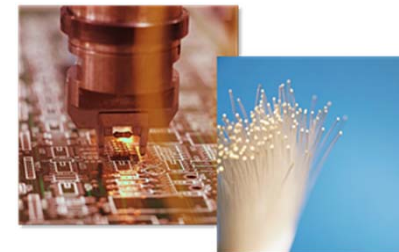
第1回「ESG」

- 環境・社会・企業統治の課題に適切に配慮・対応している企業を選別
- 長期的なリスクの低減と経営の持続的な成長が見込める企業群として紹介



第2回「特許価値」

- 企業の特許価値を指標化し、ビジネスにつながる特許を持つ企業を選別
- 将来的に事業が成長していくポテンシャルを秘める企業群として期待



- ◆ 上場会社と市場とのコミュニケーション促進を目的として、最近の市場動向や投資行動の変化、投資家視点での企業行動等をテーマとしたシンポジウムを定期的を開催
- ◆ 7月に「機関投資家による銘柄選択・議決権行使とパフォーマンス」をテーマに開催。上場会社の役職員約200名が参加

(第1回シンポジウムの内容)

【基調講演】

「変貌する日本の企業統治をいかに理解するか：株主構造と社外取締役を中心として」

- 国内外の機関投資家がどのような銘柄を選択し、どのような議決権行使をしているのか、それによって、企業のパフォーマンスにどのような影響があったのかなど、実証分析と機関投資家へのヒアリングに基づく研究から解説

宮島 英昭 氏(早稲田大学商学学術院教授・高等研究所所長) 総論・全体図
保田 隆明 氏(小樽商科大学大学院ビジネススクール准教授) 各論



【パネル・ディスカッション】

- これまでの日本企業のガバナンスや企業行動をどのようにみているのか、今後日本企業の成長のため企業サイドと機関投資家サイドでどのようなことができるのか、そのために何が必要なのか等についてディスカッション

モデレーター 加藤 康之 氏(京都大学大学院経営管理研究部教授)

パネリスト

宮島 英昭 氏、保田 隆明 氏

藏本 祐嗣 氏(大和住銀投信投資顧問株式会社 運用企画部長)

新井 亮一 氏(JPモルガン・アセットマネジメント・マネジメント株式会社取締役)

